

佳作

## 心がはずむ一日

広島県 東広島市立高屋西小学校四年 田坂 優成

「また遊ぼうね、バイバイ。」

と、さげびながら大きく手をふりました。あつくんは車のまどから身をのり出して手をふりました。車が見えなくなると、急にさみしくなってみだがあふれてきました。外は酒祭りでにぎわっていて人が多いので、ぼくはお父さんのせ中にかくれて泣きました。

あつくんと出会ったのは二年前、お父さんの仲の良い仕事のお客さんが、山口県から遊びに来てくれました。その人には、ぼくと同じ年の男の子がいるので、一しょに地元の酒祭りに行きました。出会ってすぐに自こしょう介をすると、あつという間に仲良くなって二人でわいわい遊びました。屋台でくじ引きをしたり、ようかいメダルを交かんしたり、夜はまくら投げをしたりしてもり上がりました。み

んながね静まってから、あつくんとひそひそ話をし、まるで兄弟のように遊びました。

今年の夏休み、二年ぶりにあつくんとまた遊べることになりました。会えない間、年がじょうや手紙のやりとりをして、また会える日を待ちわびていました。今回はカープ対巨人の試合を観せんすることになりました。今年の春からぼくもあつくんも地元の野球チームに入り、き本練習をがんばっているからです。おたがいホームランボールを取ろうと手紙でやく束したので、グローブを持ってはりきっていました。

広島駅の新かん線口の前であつくん達を待ちました。すると、あつくんのお父さんが後ろから「わあ。」

と、現れてぼくはびっくりしました。その後からあつくんが

「ゆうくんどこ。」

と、辺りを見わたしながら出てきました。

「イエーイ、ひさしぶり。」

と、ハイタッチをしてハグをしました。しばらく会っていない間に身長はぼくをこえていて、真黒に日焼けしていました。ぼく達は意気投合して、かたを

組んでスキップしながら球場へむかいました。

球場に入ると、選手がすぐ近くで練習していました。選手同しがかかりはなれた場所ではキャッチボールをしていました。よゆうでとどいていたのではく力があつて、ぼく達はこうふんしました。試合はシューティングゲームでカープがサヨナラ勝ちをして、思い出に残るいい試合になりました。

あつくんにひさしぶりに会って楽しく遊べたことが、この夏一番の思い出です。おたがい野球をがんばろうねとやく束したので、次に会う日がとても楽しみです。